

現状分析と課題抽出

◎g.d.についてのみ記入し提出をお願いします。すでに記入されている内容は例示ですので、すべての欄にご記入をお願いいたします。課題がない場合は、「なし」とご記入ください。

【資料2】

(◎a.b.は資料1に基づいています。 ◎e.~g.については、令和3年度の協議会にて検討していきます。)

	a. 目指す姿	b. 現状分析	c. 課題（目指す姿と現状のギャップ）	d. 課題が生じている背景や原因	e. 解決すべき課題（課題の具体化）	f. 対策の対象の具体化	g. 具体策
日常の療養	医療・介護関係者協働によって患者・利用者・家族の日常の療養生活を支援することで、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた生活ができるようにする。	①地域における持続可能な仕組みは構築されているか？	・往診医が少ない	・往診に関心ある医師が増えない ・単科の開業が多く、在宅のかかりつけ対応できる開業が少ない			
		②24時間発生する医療・介護ニーズに対応できる体制が整っているか？	・在宅支援診療所が増えないため24時間対応の体制が整えにくい	・情報の共有化が進まない			
		③事業所等、限られた資源の中であっても、連携の仕組みや方策によって解決できているか？					
急変時の対応	医療・介護・救急が円滑に連携することによって、在宅で療養生活を送る医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者の急変時にも、本人の意思も尊重された対応を踏まえた適切な対応が行われるようにする。	①急変時の連携体制が十分であるか？	・対応してくれる機関との契約により担保されるが、説明・契約が全員にできていない	・個別の状態像で対応が異なるため			
		②訪問・通所・短期入所を組合せて在宅療養を継続できる仕組みが構築されているか？					

現状分析と課題抽出

◎c.d.についてのみ記入し提出をお願いします。すでに記入されている内容は例示ですので、すべての欄にご記入をお願いいたします。課題がない場合は、「なし」とご記入ください。

【資料2】

(◎a.b.は資料1に基づいています。 ◎e.~g.については、令和3年度の協議会にて検討していきます。)

	a. 目指す姿	b. 現状分析	c. 課題（目指す姿と現状のギャップ）	d. 課題が生じている背景や原因	e. 解決すべき課題（課題の具体化）	f. 対策の対象の具体化	g. 具体策
入 退 院 支 援	入退院の際に、医療機関、介護事業所等が協働・情報共有を行うことで、一体的でスムーズな医療・介護サービスが提供され、医療と介護の両方を必要とする高齢者が、希望する場所で望む日常生活が過ごせるようにする。	①入退院の一連の流れの中で、医療と介護の有機的な連携を行うことができるか？	・市内においては退院調整会議にて連携できている				
看 取 り	地域の住民が、在宅での看取り等について十分に認識・理解した上で、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、人生の最終段階における望む場所での看取りを行えるように、医療・介護関係者が、対象者本人と人生の最終段階における意思を共有し、それを実現できるように支援する。	①市民が在宅での看取り等について十分に認識・理解されているか？	・十分ではない（ACP家族に伝えていない市民5割）	・啓発不十分			
		②ACPに関する医療・介護・福祉従事者の認識・理解は十分にされているか？	・啓発不十分	・啓発不十分			
		③実際に人生の最終段階における意思が十分に共有されているか？	・実態未把握				